

ろうきんビジョン ～ 人々が支え合う共生社会の実現のために ～

日本は少子高齢化・人口減少というかつて経験したことない社会へ変化していきます。このような社会環境の変化のなか、労働金庫は会員との連携を一層強固なものとし、働く人とその家族、退職者、求職者等、すべての勤労者にもっとも身近で信頼される協同組織の福祉金融機関としてその真価を発揮します。本ビジョンは、日本社会が大きく変化するなか、これからの10年間で労働金庫がめざす姿を描いたものです。13の労働金庫と協会・連合会は、本ビジョンを業態のビジョンとして共有化し、その実現に向け、業態の総合力を結集して取り組んでいきます。

勤労者を取り巻くこれからの環境

日本は世界でも類のないスピードで高齢化が進んでいきます。少子高齢化・人口減少の進展による国内市場（需要）の縮小・企業の海外進出が進めば、勤労者の雇用環境や所得の不安定さは増していきます。加えて、年金・医療・介護など勤労者の生活を支える各種の社会保障制度の機能低下、持続可能性に対する懸念が高まっており、勤労者のくらしを取り巻く環境は依然として厳しいものと想定されます。

勤労者が必要とするもの

雇用や所得環境の不安定さが増し、勤労者が生涯にわたって安心して生活していくためには、計画的な資産形成とともに、保有資産の有効活用と安心・安全な管理も必要となります。また、誰もが安心してくらしをいけるためには、医療や介護、子育てなど、充実した福祉環境と地域コミュニティ機能が欠かせません。

労働金庫がめざす姿

会員との連携を一層強固なものとし、勤労者にもっとも身近で信頼される協同組織の福祉金融機関としてその真価を発揮します。

1. 勤労者の生活を生涯にわたってサポートします

- 勤労者の生活設計に応じた最適な資産計画の提案をはじめ、子育てや教育、マイホームなど、それぞれのライフステージにおけるあらゆる資金ニーズに良質な商品で応えます。リバースモーゲージや遺言信託等、資産の活用・管理に関する新たな商品・サービスについても積極的に導入を進めます。

2. 非営利・協同セクターの金融的中核として、その役割を発揮します

- 地域社会が抱える課題を解決するために活動する非営利・協同セクター（協同組合、NPO、社会福祉法人、社団・財団等）との連携をこれまで以上に強化するとともに、金融的中核を担うことを通じて、連帯・協働による社会的事業を発展・創造するコーディネーターとしての役割を発揮します。

3. 人と人、人と地域をつなぐことを通じて、共生社会の実現に貢献します

- 非営利・協同セクターとのネットワークを活かし、生活に役立つ様々な情報を蓄積し提供することで勤労者の課題解決を支援することを通じて、人と人、人と地域をつなぎ、すべての人が安心してくらすことのできる共生社会の実現に貢献し、労働金庫の社会的な存在価値を確立します。

会員の参画による運動と事業のさらなる発展

労働金庫は、戦後、勤労者が金融機関から融資を受けることができなかった時代に、勤労者の自主的な福祉事業として、勤労者の手で創設された金融機関です。会員労働組合は、以後、今日まで労働運動の一環として労働金庫の事業運営に積極的に参画し、勤労者の生活を守り向上させるための運動を展開してきました。

今日、非正規労働者の増加と格差の拡大など勤労者を巡る環境が厳しさを増す中、会員と労働金庫が一体となって労金運動を推進する意義をあらためて共有化し、会員とともに勤労者の課題解決のための取り組みを進めていきます。

労働金庫はこれからも日本で唯一の勤労者のための福祉金融機関として、創設の精神を今日的に具体化した事業と運動を展開することを通じて、会員が行なう自主福祉運動の一翼を担っていきます。

勤労者にもっとも身近で信頼される福祉金融機関

